

## 世の中の移り変わり

西 暦	元号	年 干支	月	おもなできごと	※太字は本邑(本町)関係
古代 原始 旧石器時代				天草に人間が住み始める 牛深内野原遺蹟 倉岳下塔尾遺蹟	
縄文時代 (約1万年前)				狩猟 漁の生活 (たて穴式住居.石器.骨格器.縄文式土器) <b>柵の原遺跡・道面遺跡・新休遺跡・福岡遺跡</b> (石器)	
早期				本渡丸尾が丘遺蹟	
中期				五和町二江沖ノ原貝塚	
				本渡大矢遺蹟 (土偶.動物形土製品)	
後期				本渡浜崎貝塚	
晩期				浜崎遺蹟 (小児用甕棺)	
弥生時代(約2,400年前)				水田稲作 農耕生活始まる 弥生式土器.鉄器.青銅器 二江沖ノ原遺蹟 (埋葬人骨あり)	
古墳時代(約1,700年前)				各地に古墳が造られ始める 妻の鼻 大松戸 須森 新田 古墳) 天草式土器を使って海水より塩を造る	
大和時代					
8 2	景行	1 2		景行天皇 熊襲征伐	
8 8	景行	1 8		景行天皇が御所浦 樋島 姫浦に寄港 (船止まり伝説)	
1 3 5	成務	5		天草国造に建島松命 任命される 「先代旧事本記」 大和朝廷の全国統一進む(4世紀中期)	
飛鳥時代					
5 3 8				百済から仏教伝来	
5 9 3				聖徳太子 推古天皇の摂政となる	
6 0 4	推古	1 2		肥後国天草郡	
6 0 7				小野妹子 遣隋使派遣	
6 4 5	大化	元		大化の改新	
奈良時代					
7 1 0	和銅	3		平城京(奈良)に都を移す	
7 1 2		5		古事記できる (両児島.天両屋島の名がある)	
7 1 3		6		道君首名 筑後 肥後の国司となる	
7 2 0	養老	4		日本書紀が完成する	
7 4 3				筑紫館跡から木簡「肥後国天草志記里」出土	
7 4 4	天平	1 6		続日本記に天草の名がある 肥後国 八代 芦北 天草三郡に大洪水 郡人1,520余溺死「続日本記」	
7 7 8	寶龜	9	1 1	遣唐使 大伴宿弥一行 天草仲島 (長島) に漂着 「続日本記」	
平安時代					
7 9 4	延暦	1 3		平安京(京都)に遷都512 (都を移す)	
8 7 3	貞観	1 5	7	渤海国入唐使崔宗佐門一行甌島に漂着「日本三代実録」	
8 8 5	仁和	元年	4	新羅国使徐善行 高興善ら天草へ上陸「日本三代実録」 「和名類聚抄」には「肥後国安万久佐郡に波太.天草. 志記.恵家.高屋の五郷あり」と記してある。	
9 4 1	天慶	4		弘法大師の法孫妙覚法印が蘇迷岳観音院を開基	
鎌倉時代					
1 1 3 7	保延	3		平清盛 肥後守となる	

1 1 8 5	文治	元		源頼朝 全国に守護・地頭をおく
1 1 9 2	建久	3		源頼朝 鎌倉幕府を開く
1 2 0 5	元久	2	7	志岐左衛門尉光弘 志岐6ヶ浦の地頭職に任命 6ヶ浦 (佐伊津沢張 鬼池 蒲牟田 大浦 須志浦 志木浦) 天草種有 本砥(本渡 河浦 産島 高浜)の地頭職となる
1 2 3 3	貞永	2		種有の子播磨局に本砥の地頭職を譲る
1 2 6 0	文應	元		大蔵太夫 (播磨局) 亀川に来迎寺を建立
1 2 7 4	文永	1 1		文永・弘安の役に大矢野、天草、志岐氏ら出陣
1 2 8 1	弘安	4		弘安の役 蒙古襲来に大矢野種保 種村 奮戦殊勲樹立
1 2 8 3	弘安	6		本砥郷山口に諏訪宮を建てる
室町時代 1 3 1 3	正和	2		本砥島の地頭職、志岐景弘に与えられる 河浦一町田に信福寺 (天台宗) を開山
1 3 3 8	暦応	元年		足利尊氏 室町幕府を開く
1 3 3 9	暦応	2		志岐高達 菊池武朝から本戸を与えられる
1 3 4 0	興国	元		蘇迷岳観音院に無外禅師が入山
1 3 5 6	延文	元		棚底大権寺明俊禅尼の石塔 (紀年名刻印)
1 4 6 7	応任	元		応任の乱
1 4 7 3	文明	5		佐伊津寺尾に随了順公が長福寺 (真言宗) 創建
1 4 8 7	長享	1		栖本河内の小ヶ倉に磨崖佛建立
1 4 9 6	明応	5		鹿子木親員が隈本城を築く
1 5 0 1	明応	1 0		天草一揆 志岐 上津浦 宮地 天草 長島 大矢野 栖本 久玉)
1 5 0 2	文亀	2		河浦益田に観音寺 (浄土宗) 再興
1 5 0 5	永正	2		河浦今村に薬師寺 (浄土宗) 再興 栖本湯舟原に利明寺 (浄土宗) 再興
1 5 3 0	享祿	3		天草氏が本戸城を築城
1 5 3 6	天文	5		城木場城主礒久大膳太夫 圓覺寺(真宗西)開基 現南町
1 5 4 1		1 0		本戸馬場村に延慶寺(真宗東)創建
1 5 4 3	天文	1 2		ポルトガル船が種子島に漂着 鉄砲伝来
1 5 4 5	天文	1 4		大矢野に唐船着く
1 5 4 9	天文	1 8		フランシスコ・ザビエル鹿児島に上陸 キリスト教布教
1 5 5 5	弘治	元年		天草五人衆時代 志岐麟泉.天草鎮種.大矢野種基.栖本親高.上津浦鎮直)
1 5 6 0	永祿	3		栖本・上津浦戦で鉄砲が使われる
1 5 6 5	永祿	8		天草長島 (天草越前守) は島津義虎に滅ぼされ (薩摩領)
1 5 6 6	永祿	9		志岐麟泉 キリスト教宣教師ヴィレラを招聘する
1 5 6 7	永祿	1 0		全国の宣教師を招集して志岐宗教会議を開催
1 5 6 8	永祿	1 1		天草鎮種 修道士ルイス・アルメーダを招聘する 崎津に天主堂を建設
1 5 7 0	元亀	元		天草志岐に全国の宣教師を招き宗教会議を開く
安土桃山時代 1 5 8 2	天正	1 0		「本能寺の変」織田信長が明智光秀に攻められ自害する 豊臣秀吉が明智光秀を討つ「山崎の戦い」 大友宗麟、ローマに遣欧少年使節団を派遣
1 5 8 7	天正	1 5 丁亥	4	豊臣秀吉 九州征伐 肥後南半分は小西行長支配 豊臣秀吉パテレン追放令を出す
1 5 8 9	天正	1 7 己丑	1 1	天草天正の合戦

				(仏木坂に於いて木山彈正 加藤清正軍に刺殺さる) 蘇迷岳観音院が小西行長の兵火を浴び全焼
1590	天正	18庚寅		豊臣秀吉の全国統一が完成する 少年使節団、活版印刷機を持ち帰る
1591	天正	19辛卯		コレジオ(大神学院)天草学林口之津より天草へ移転 遣欧四少年天草のノビシアド(修練院)に入る 遣欧少年使節団、聚楽第で豊臣秀吉に謁見
1592	文禄	元年壬辰		日本最初の金属活字本「平家物語」「伊曾保物語」出版 町山口村に鎮道寺(真宗東)建立 現富岡 豊臣秀吉 朝鮮出兵(文禄の役) (大谷諸兵衛 益田日向兵衛ら天草水軍を率いて出陣)
江戸時代				
1597	慶長	2丁酉		大島子村に西法寺(真宗西)建立 現佐伊津
1598	慶長	3		学林、天草より長崎へ移転
1600	慶長	5庚子		関ヶ原の戦いで徳川家康が勝利する 天草は加藤清正の領となる
1601	慶長	6		天草は唐津藩寺沢広高の領地となる(総高4万2千石)
1602	慶長	7		寺沢広高富岡城を築城
1603	慶長	8癸卯		徳川家康 江戸幕府を開く。
1604	慶長	9甲辰		富岡に唐津城の支城を築き、番代を置く 富岡に龍福寺(曹洞宗)を建立 竜ヶ岳樋島に願成寺(浄土真宗)建立
1605	慶長	10乙巳		徳川家康 徳川秀忠に将軍職を譲る 幕府 諸国大名に国絵図 郷帳作成(統計調査)を命ず 肥後国絵図(永青文庫) (河内村石高1028.976石の記録あり) ※河内村(現在の <b>本町・本泉・広瀬</b> )
1607	慶長	12丁未		熊本城完成(隈本城を熊本城に改める)
1612	慶長	17		河浦下田に信福寺(浄土宗)再興
1613	慶長	18癸丑		将軍徳川秀忠 全国にキリシタン禁制を発令
1616	元和	2丙辰		鎮道寺に真宗天草総録所を命じ富岡へ移転
1621	元和	7辛酉		三宅藤兵衛 天草の番代に着任
1623	元和	9		徳川家光が3代将軍となる
1629	寛永	6己巳		踏絵令を発す 一切支丹宗徒の大検挙
1632	寛永	9壬申		細川氏が肥後藩主となる
1633	寛永	10癸酉		幕府鎖国令発布
1634	寛永	11甲戌		14年まで異常気象 天草不作続く 餓死者多数
1635	寛永	12		参勤交代が制度化される
1636	寛永	13丙子		寛永通寶鑄造さる 天草の人口2万5千人
1637	寛永	14丁丑	10 11 12	<b>本村及び近村の百姓が天草四郎勢を攻撃</b> 天草島原の乱 切支丹一揆勢(天草四郎)と領主寺澤勢が島子村で合戦 本戸の合戦で番代三宅藤兵衛討死 更に富岡城を攻めたが落ちず坂瀬川より原城へ向かう) 一揆勢原城に籠城
1638	寛永	15戊寅	2	宮本武蔵、原城総攻撃に参戦し一揆勢の投石で負傷 天草より籠城者男女12,208人死滅 原城 落城す 天草四郎以下一揆勢3万7千人は討死

			3	松平伊豆守信綱 乱後の天草巡視 山崎家治が領主となる 富岡城を再建 魚貫崎遠見番所設置
1639	寛永	16己卯		幕府は鎖国令によりキリシタンを厳しく取り締まる
天領専任統治 1640	寛永	17		宮本武蔵が細川忠利に招かれ熊本城下に住む
1641	寛永	18辛巳		幕府天草を天領とし鈴木重成を初代代官に任命 重成は天草を10組86ヶ村に分け、村々に庄屋を置く 旧「河内村」は御領組（下河内村：佐藤家・ <b>新休村：福田家・本村：鶴田家</b> ） 諏訪神宮は本渡へ移転、本渡の市始まる 牛深遠見山番所設置
1642	寛永	19壬午	7	幕府、天草に移民を奨励 薩摩藩より移民35戸155人 馬匹49頭移入 熊本藩より移民50戸170人 馬匹2頭移入
1643	寛永	20癸未	10	正天皇譲位後光明天皇踐祚（位を継ぐ）（將軍徳川家光） 宮本武蔵「五輪ノ書」を著す 山口村に諏訪宮を再建（鈴木重成） 志岐村に白華山円通寺を創建（鈴木重成）
1644	正保	元年甲申	11 12	本戸郡代役所跡に禅寺向陽山明德寺12石建立（鈴木重成） 志岐に国照寺を建立（鈴木重成） <b>平床矢筈岳に山ノ神建立</b> 江戸幕府正保郷帳（統計調査）作成を命ず
1645	正保	2乙酉		湯舟原村に浄土宗仏性山宗円性寺30石を再建（鈴木重成） 一町田村に浄土宗天草山崇円寺30石を創建（鈴木重成） 御領村に曹洞宗月桂山芳證寺12石創建（鈴木重成） 本渡町に曹洞宗向陽山明德寺12石創建（鈴木重成）
1646	正保	3丙戌		上津浦に曹洞宗正覚寺を創建（鈴木重成） 正保郷帳（石高 下河内村104石 枝郷「掛道村」31石6斗 本村203石、新休村86石）
1647	正保	4丁亥		郡中に移住民500人を招致 農具は公儀持ち 家居は其村提供 富岡に天草島原の乱戦没者の首塚を建立
1648	慶安	元年戊子	11 12	<b>鈴木重成 命じて新休村に松栄山東向寺創建</b> 徳川將軍家菩提所として郡中鎮護の靈場に当てる 中華珪法、開基 重成 郡中諸寺社へ寺社領寄与の證状を發令 総石高300石 <b>東向寺50石</b> 国照寺45石 円性寺30石 崇円寺30石 瑞林寺15石 明德寺12石（内2石明栄寺） 芳證寺12石（内2石長興寺）
1650	慶安	3庚寅		<b>下河内村普門院創建</b>
1651	慶安	4辛卯	夏 8	<b>東向寺の工略々成就 中華珪法 家光の廟に弔禮</b> 徳川家綱を將軍職とする
1653	承應	2癸巳	春 10	重成上府す 直接老中に郡状を訴え 石高半減の聴許求む 重成 江戸神田賜邸において自刀（切腹）する 年66 球磨出身の真言宗僧侶澄禅〔四国遍路日記〕を著す
1654	承應	3甲午	3 3	郡中に始めて切支丹禁制の高札を建てる <b>下河内佐藤家3代（俗名不祥）歿す</b> 自刀した鈴木重成公の遺髪を中華珪法が貰い受け寺領内

				に埋葬する
1655	明暦	元乙未	4	鈴木伊兵衛重辰を天草代官に任命 下向する (派遣)
1659	萬治	2己亥		鈴木重成 重辰親子2代に亘り郡高減石を申請の熱意は漸く幕府要路の容る処となり検地改替え許容さる 即ち総高2万1千石余の決定。石高半減の宿望遂に達成 萬治検地 (石高下河内村195石9斗、新休村104石、本村123石7斗) 福連木官山の檜の木切り出し始まる
1663	寛文	3癸卯	9	天草東部禅宗本寺 新休 東向寺開山の中華珪法が示寂 (死去) (76才)
1664	寛文	4申辰	6 7	新休 東向寺梵鐘改鑄 (2世神養珪谷) 私領復活統治 戸田忠昌支配
1665 1666	寛文 寛文	5乙巳 6丙午	10	鈴木重成 重辰の功績を称え 郡民各村に鈴木塚を建立 郡中郷村5人組帳始まる 佐藤家4代弥兵衛歿す (死去)
1670	寛文	10庚戌		富岡城破城 (戸田忠昌)
1671	寛文	11辛亥	3 5	戸田忠昌関東に領地替え 小川藤左衛門正辰着任す 小川代官支配 福岡 聖福庵創建
1672	延寶	元癸丑		染岳観音堂の草庵として〔慈眼庵〕を建立 郡中の馬4千頭余り瀕死 翌年幕府より千両拝借し薩摩より馬667頭購入 長崎奉行始まる
二次天領統治				
1676	延寶	6戊午		大風水害で天草被害甚大 凶作
1679	延寶	7己未	7	徳川綱吉を将軍にする (靈元天皇)
1680	延寶	8庚申	8	幕府 切支丹嚴禁の令を発令 南西に彗星現れる この年大飢饉
1682	天和	2壬戌	10	奢侈禁令郡中に觸達される 本村平床に光徳庵 (香徳庵) 創建
1685	貞享	2乙丑	春	服部六左衛門三正着任する 服部代官支配 幕府 生類憐愍の令を発令 犬の繋ぎ置きを禁止
1687	貞享	4丁卯	1 3	幕府 更に生類憐愍の令を発令生類の戸籍帳作成を命ず 靈元天皇讓位、東山天皇受祚 (位を継ぐ) (将軍綱吉) 高野聖眞念〔四國遍禮道指南〕版行
1688	貞享	5戊辰	8	下河内十五社宮鳥居建立 (庄屋佐藤平左衛門)
1691	元祿	4辛未		天草の人口34,000人 下河内村195石9斗4升、庄屋佐藤平左衛門。 23軒227人 (男122・女105) 新休村104石4斗6升、庄屋福田平兵衛。 15軒156人 (男82・女74) 本村123石7斗2升、鶴田市之丞。 32軒、375人 (男208・女167) 平床の山奥に鉄山あり
1692	元祿	5壬申		幕府對高野山學侶行人之間的衝突進行裁判 驅逐千余人 幕府 高野山の真言宗僧徒 600余人を流刑 東向寺五世、密山道實により寺領に迦葉軒を創建
1693	元祿	6癸酉		高野山の行人僧 140人を天草へ流刑 富岡7 志岐16 御領15 本戸20 栖本20 大矢野18 砥岐8 久玉7 一町田11 大江10 五島155 隠岐155

				高野山流人 権大僧都栄遍、大浦で示寂(九品寺)
1694	元禄	7 戊	1 2	高野山流人 権大僧都祐慶大和上、大浦で示寂(九品寺)
1695	元禄	8		高野山流人 西福院法印祐遍覚、高浜で示寂(隣峰寺)
1697	元禄	10 丁丑	1 0	高野山流人 長福院秀漢、志岐で入寂(国照寺)
1698	元禄	11 戊寅		魚貫崎に唐船漂着する 高野山流人 正福院乗良雲、志岐で入寂(国照寺)
1699	元禄	12 己卯	4	下河内村庄屋 5代佐藤平左衛門歿す(死去)
1701	元禄	14 辛巳		福連木の樫7,000本を槍柄に切り出す
1702	元禄	15 壬午	12.14	江戸無宿55人天草に配流 赤穂浪士47名が討ち入り
1703	元禄	16 癸未		江戸無宿45人天草に配流
1707	寶永	4 丁亥	1 1	富士山噴火し 山腹に寶永山を生ず
1709	寶永	6 己丑		郡中瘡瘡病人手当方を制定
1712	正徳	2		天草陶石発見
1713	正徳	3 癸己		高野山流人 正覚院権大僧都秀量、志岐で示寂(国照寺)
1714	正徳	4 甲午	7	天領委任統治 豊後日田の室七郎左右衛門代官兼撰 凶作にて大飢饉
1715	正徳	5		切支丹宗禁制高札26枚立つ
1716	享保	元年丙申		享保の改革(将軍吉宗)
1717	享保	2 丁酉		唐津浪人 広田和平が横久保で泥人形製作始める 明德寺楼門建立 西国巡検使来島
1720	享保	5 庚子	6	島原領所支配 松平忠雄兼帯
1721	享保	6 辛丑		「宗門人別改帳」の実施 幕府諸国の人口田畑を録進させる 天草は島原城主松平主殿頭忠雄の預地となる 富岡でフカ狩り始まる 幕府肥後諸藩(杵ノ原、杵宇土)へ黄栌植栽を命ず
	享保	8		
1724	享保	9 甲辰		江戸よりの流人48名を村預け
1725	享保	10 乙巳	3 9	東向寺六世 迦葉軒2世に泰林光心 下河内神社に石灯籠建立 大地震 天草で甘藷栽培始まる
1728	享保	13 戊申	2	新休村東向寺6世泰林光心示寂す 年62才 福岡行人岳に観音堂を建立
1729	享保	14 己酉		郡中大飢饉死者4百餘人
1731	享保	16 辛亥	8	本村神社に鳥居建立(庄屋 磨田孫右衛門)
1732	享保	17 壬丑		大凶作 巡検使13名来島 西南諸国餓死者百万人
1734	享保	19 甲寅		幕府島原藩に命じ救援米千石を貸す
1736	元文	元年丙辰	1 0	島原新城主松平主殿頭忠侃天草巡視 (新休村東向寺参詣本村~仏木坂~志岐)
1740	元文	5 庚申		島原藩主松平忠刻初巡察 天草は大凶作
1743	寛保	3 癸亥	1 2	西空へ彗星出現 翌子年正月13日頃までで罷む 志岐方面の石炭を発見する
1745	延享	2 乙丑		大雨のため大凶作
1746	延享	3 丙寅		西国巡検使来島 郡中惣高21,286石・8,288軒 74,657人・牛708頭・馬3,937頭 船1,342隻・鉄砲546挺 郡内(寺数51社・神宮266) 郡中村々道法調査(本泉村より下河内村へ8丁、

1747	延享	4丁卯	5	下河内村より新休村へ18丁、新休村より本村へ6丁 ※1丁は109m (下河内村庄屋 佐藤務右衛門・ 新休村庄屋 福田奎右衛門・本村庄屋 鶴田令右衛門) 桃園天皇踐祚あらせらる 将軍家重 飢米 1,986石4斗 公儀より拝借に及ぶ 松平忠祇兼帯
1748	寛延	元年戊辰		新休村東向寺(9世靈泉惠照)随意會地となる
1749	寛延	2己巳	7	本村前原の鈴木塚近くに石造社殿新建 正式に鈴木社を奉祠し随意會開帳させる 平床鉾矢筈岳に観音菩薩を建立 島原預所支配 戸田忠盈兼帯 肥後藩・寶暦の改革
1750	寛延	3辰午	1	下河内村庄屋七代佐藤茂兵衛の次男瑞岡珍牛八才にして 新休村東向寺九世、靈泉惠照を禮し薙髮(剃髮) 具足戒(僧侶が守るべき道德規範・規則)を受く
1751	寶暦	元辛未		宝暦年間(1751~1763) 新休に花谷庵を創建 戸田忠辰島原藩主となる 高浜にて陶石採掘を始める
1754	寶暦	4甲戌		智子内親王踐祚あり、後櫻町天皇(徳川家治) 福岡に地藏堂を建立(観音菩薩を合祀)
1755	寶暦	5乙亥	9	下河内村庄屋六代佐藤彌兵衛歿す
1760	寶暦	10		中村頤亭御領に私塾「正論社」を開塾
1762	寶暦	12壬午	12	高浜上田伝五衛門が鷹巣山に高浜焼きを始める 寺領迦葉軒下に地藏尊建立
1763	寶暦	13癸未		本渡諏訪神社町山口より遷座 大祭に農具市開く
1765	明和	2乙酉		下河内神社に石灯笼建立 山仁田において水平焼き始まる
1768	明和	5戊子	4	日田西国郡代支配 揖斐政復兼任
1769	明和	6己丑	7	東向寺10世泰梁慧貞 染岳観音院を再興 東向寺門末
1770	明和	7庚寅 7		寛永通寶増鑄(追加発行)される 下掛道秋葉さま建立
1771	明和	8辛卯		大庄屋に名字帯刀(姓と刀剣所持)を許す 出米騒動起こる
1773	安永	2癸巳		栢原高尾山に鈴木三神像を建立 天草、最初の大規模な百姓一揆
1774	安永	3甲午	5	杉田玄白ら「解体新書」著わす 揖斐靱負兼任
1777	安永	6丁酉		大暴風 郡中の田6割が被害 畑収穫皆無 栢原において金助 為七 久平等、邪宗の信仰が発覚、 庄屋より一喝され忽ち翻心(悔い改める) 3名は 惣村中へ詫び證文を入れ内済となる
1778	安永	7戊戌		大島子村に隠れ切支丹4名が発覚 牢屋 手鎖
1779	天明	8己亥	11	光格天皇 将軍家治
1781	天明	元年辛丑	9	下河内村庄屋7代佐藤茂兵衛歿す
1782	天明	2壬寅		天明の大飢饉起こる(~1787)
1783	天明	3癸卯	9	島原預所支配 松平忠恕兼帯
1785	天明	5乙巳		栢の原下に弘法大師堂建立(地藏合祀) 越中富山の売薬業者来島の記録あり
1786	天明	6丙午	9	光格天皇 将軍家齋 福岡長田に秋葉さま建立

1787	天明	7丁未		寛政の改革 牛深村にて一揆起こる
1788	天明	8戊申	2 3 6 10 10	東向寺12世超宗越覺 常恒會地聽許を得て帰山する 米穀買占酒類密造嚴禁令發布 郡中酒屋66軒 株高1,766石4斗2升5合 酒造総高3,168石7斗9升 島原城主松平忠恕天草巡視のため来島 東向寺常恒會開発結制申立相撲興行(13日まで) 本村前原鈴木社を茅葺きの社殿拝殿に改築鈴木三神を 祭神として併祠し常恒會結制に引き続き15日まで開帳 相撲興行を続行これより <b>14日を以て社祭日</b> と定める
1789	寛政	元年己酉	1 8 12	瑞岡珍牛(48)長州より帰山し染嶽観音院へ入る 珍牛、東向寺へ晋山(13世) 下河内神社に石灯籠建立
1790	寛政	2庚戌		江戸勘定所より関東移民をすすめたが希望者なし
1792	寛政	4壬子	4 7	島原(眉山)大爆発 天草一帯津波襲来 家屋流失死者15,000余人、郡中被害18ヶ村 世に「島原大變肥後迷惑」と言う 松平忠馮兼帯
1793	寛政	5癸丑		一町田・大江組に願ひ百姓一揆あり
1794		6甲寅		宗門改めの為島原表より出役 寺領鈴木社下に観音菩薩を建立
1795		7		新休中尾に金比羅さま建立
1796	寛政	8丙辰	5	百姓相続方仕方11ヶ条裁許(寛政の特政) 宗門改めの為 島原表より出役 大雨洪水 田畑被害甚大 田方半作 下河内村庄屋 佐藤周蔵 新休村庄屋 福田恒助 本村庄屋 鶴田新五右衛門 相続方仕方実施に当たり郡中村役より相続方掛庄屋 佐藤周蔵など22名に島原表より褒詞の晒布拝領
1797	寛政	9丁巳	7	島原藩主松平忠憑天草初巡視一行208人 東向寺山門前に准胝観音を建立
1799	寛政	11己未		宗門改めの為島原表より出役 5月中旬より旱魃
1799	寛政	11己未	9 12	無類の不作につき百姓騒ぎ立て村々を袖乞(物貰い) して押廻り遂には打毀(破壊)や暴挙に及ぶ 重立つ者に牢舎又は手錠申し付け島原表より吟味の上 江戸表へ経伺中の処、裁決あり夫々罪科申し渡される (下河内村忠兵衛を追放 不逞百姓を出した下河内村庄屋 へ過料銭90貫文) 役所へ拝借銀願上げ3千貫匁の下銀(給付)あり 下河内村庄屋八代佐藤周蔵歿す
1802	享和	2壬戌	7	幕府 醸酒の冥加金を徴収する 普門院入口に准胝観音を建立
1803	享和	3癸亥	5	郡中麻疹大流行 大雨洪水郡中田畑の荒地頻出 被害特に甚大の下河内村 本村など13ヶ村は見分の上 荒高500石減石される
1804	文化	元年甲子		郡中村々消防組 施設につき令達 今富村で銅製の異仏が発見される



			1 1	尾張瀬戸焼の陶工加藤吉左衛門の次男民吉 高浜焼きの染付秘法を得るため東向寺天中を介して高浜村庄屋上田源太夫の製陶工場へ入所する
1 8 0 5	文化	2 乙丑	9	郡中宗門改め絵踏廻村の為出役 隠れキリシタン発覚 5千人を数える(高浜 大江 崎津 今富) 郡中貯穀過納税酒造税(酒造21歩米代銀) 取立方掛り庄屋12名を選定下河内村庄屋佐藤弥右衛門 下河内神社の拝殿再建 新休竹の尾に愛宕さま建立 御領石本平兵衛、大飢饉救済米を贈る
1 8 0 6	文化	3 丙寅	6	早魃に付き 東向寺に於て17日より17日間祈祷 御領村銀主松阪屋石本平兵衛丁銭三千貫文(750兩) 郡中へ村方の夫食料として寄付
1 8 0 7	文化	4 丁卯		郡中宗門改め絵踏廻村の為出役 害虫発生 稲作被害甚大 高浜村に疱瘡流行罹患180余人死者72人
1 8 0 8	文化	5 戊辰		異国船入港の報に村々心得方配布 嚴重警戒にあたる 京阪より流人9人を村預け
1 8 1 0	文化	7 庚午	1 0 1 1	郡中宗門改め絵踏廻村の為出役 測量方伊能勘解由忠敬一行薩州長島獅子島～大多尾着船(牛深に至り高浜 富岡 二江を測量) 下河内を測量し亀川 瀬戸～上島大矢野を測量 御所浦諸島を最後に天草全島の測量完了 53日間
1 8 1 1	文化	8 辛未	2	本村鈴木神社境内に祭神三君を称えた顕彰碑建立 宇土梶山に観音菩薩を建立 本村人高1333人(男660・女673) その他寺領人高392人(男207・女185) 御領石本平兵衛、大飢饉救済米を贈る
1 8 1 2	文化	9 壬		富岡町の銀主等は年賦貸付金の全てを棄損する
1 8 1 3	文化	1 0 癸酉		柵原の百姓清作外7名が秘仏を拝んでいる事が発覚し 佐藤庄屋へ詫証文を入れ内済に取り計られる
1 8 1 4	文化	1 1 閏癸	2	長崎代官支配 高木忠任兼任 仁孝天皇 将軍家齋
1 8 1 5	文化	1 2	1 3	迦葉軒入口に准胝観音を建立 新休花谷庵に准胝観音を建立
1 8 1 6	文化	1 3	2	二又阿弥陀堂脇に准胝観音を建立
1 8 1 7	文化	1 4 丁丑	7	本村新休村外三ヶ村入會嫁場出入の件 井手組大庄屋長島宇源太 本戸組大庄屋木山十兵衛 志柿村庄屋永野九郎太夫を現場見分に立会わせ内済扱 高浜上田 宜珍、陶石販売をはじめ
1 8 1 8	文化 文政	1 5 元 戊寅	1	洗切に准胝観音を建立 吉田左太一東壁が栖本河内村に私塾「学半舎」を開く 本村梶山で下駄山をめぐる入会山紛争起る 音丸周硯が大島子に寺小屋開設(25名)
1 8 1 9	文政	2	4	下鶴久保利に准胝観音を建立
1 8 2 1	文政	4 辛巳	7	伊能忠敬の大日本沿海実測地圖 同実測録完成する 郡内諸色雑貨小売商に大問屋株を設定株元は夫々運上を上納し郡内消費の餘荷は代銀にて年々會所に納付させる 蠟燭鬢付け(整髪料)引請 下河内村(伊三郎) 馬尾掛尻具 下河内村(幸之丞)

1823	文政	6 癸未		上田宣珍「天草島鏡」完成 本村鈴木社に対し神祇管長より鈴木明神と称する神宣状を下附される この頃甘蔗(さとうきび)栽培盛んになる
1824	文政	7 甲申	9 9	本村鈴木社社殿再建の工成就する 横久保に三宮神社(東向寺の鎮守)創建
1825		8		上鶴に金比羅さま建立
1826		9		天草の人口14万人
1827	文政	10 丁亥		村々貯穀並20分1御下穀石數改請印覺 下河内村 粃7石2斗2升7合 外粃1斗2升 新休村 粃4石6斗6合 外粃7升8合 本村 粃5石1斗7升4合 外粃9升)
1828	文政	11 戊子		大暴風被害甚大(損害反別 田1,099町2反8畝7歩 畑235町9反2畝5歩 漬家(床下浸水)4,686軒 半漬家1,415軒 溺死22人)
1829	文政	12 己丑	9	新休若宮社に標柱を建立 昭和64年1月鶴田功確認 本村神社に石灯籠建立
1830	天保	元年庚寅		大暴風雨 新休村被害甚大幕府より手当銀4貫983匁借入 本渡町山口村に徳田屋塾(平方権之助)開塾
1831	天保	2 辛卯		水害虫害相嵩み作物大被害 新休若宮神社に石灯籠建立(廃棄) 福岡に志賀さま建立
1832	天保	3 壬辰	3	日田郡代支配 監谷正義兼任 町山口川の祇園橋建立 高野山知恩院権大僧都定舜上人河浦へ流罪(信福寺)
1833	天保	4 癸巳	7 10 11	早魃水害虫害相嵩み被害甚大 郡内百姓騒動(都呂々 下津深江 櫛宇土 楠浦 宮地) 長崎代官支配 喬木忠篤兼任 東向寺 出火全焼す 法堂 庫裡 方丈 東司 僧堂 衆寮 下部屋 納屋 山門廻廊 鐘樓 法藏二字悉く全焼 となり僅かに仏像 記録過去帳のみ残存し古佛の宝物 什器一切を焼却す(18世老山梅翁) 本村永野に屯する38人程の小前百姓共 栢宇土を 経て帽子岳の同勢へ合躰す 下河内村庄屋 佐藤弥太郎 46 新休村庄屋 福田平右衛門 27 本村庄屋 鶴田左一郎 20
1834	天保	5 甲午	9 10	下河内村百姓壽助騒立件に付取糺筋あり長崎奉行所 へ出頭させよと郷宿圓城寺儀兵衛方へ届けられる 寺領に天神様(菅原道真公)建立 下河内村庄屋九代佐藤弥右衛門歿す 船之尾の祇園橋完成 石工 下浦辰右衛門 このころ定舜上人が一町田に「臨川塾」を開く
1835	天保	6 乙未		天保通寶鑄造さる 梶山に志賀大明神建立 鶴田代に滝の上観音建立
1836	天保	7 丙申		郡中食料欠乏 飢餓死人出る
1838		9		矢筈岳に金比羅さま建立
1839	天保	10 己亥	10	幕府 百姓の武芸を禁ず 下河内十五社宮を改築

1840	天保	11庚子		幕府 神事祭礼の華美・百姓の武芸を禁止する
1841	天保	12辛丑	3	天保の改革 下河内村差置の流人無宿江戸の岩吉(23)島抜け(脱獄)
1842	天保	13壬寅		富岡志岐で疱瘡大流行罹患者千人余死者50余人 二又黒染に観音菩薩を建立
1843	天保	14癸卯		天草の百姓ら相続仕法復活要求で長崎奉行所へ出訴
1844	弘化	元年甲辰	1	大矢野 砥岐 栖本の百姓数千人所々打毀(破壊)
1845	弘化	2乙巳		御領組大庄屋長岡五郎左衛門興就相続仕法要求のため江戸幕府へ越訴(本来の手続きを飛び越して訴訟する) 弘化の討壊し 古江村庄屋永田隆三郎を盟友として一揆勃発忽ち郡中へ広がる外暴民15,021人
1847	弘化	4丁未	1~	新休の若宮神社に鳥居建立 下河内道面に清正公さまを建立 天草は日田大官 竹尾清右衛門の領有となる 池田岩之丞兼任 日本近海に異国船の出没が頻繁
1848	嘉永	元戊申	1	凶作続きにて夫食窮迫す(食糧危機)
1851	嘉永	4辛亥	6	下河内村差置の流人亀助(27)島抜けする(脱獄) 東向寺伽藍再建(20世師静祖眞)
1853	嘉永	6癸丑		ペリー 浦賀に来航 ロシア特使プチャーチン長崎に来航
1854	安政	元年甲寅	2	日露和親条約調印 北方四島(国後.択捉.歯舞.色丹)日本帰属が決定 日米.日英和親条約締結
1855	安政	2乙卯		日仏.日蘭和親条約締結 下島に天然痘流行 新休黒岩に将軍様(鈴木重成)の碑を建立 下河内村差置の流人亀吉 居小屋に不在 探索敵命の回書
1856	安政	3丙辰	春 春秋	東向寺境内に私塾聴松堂を開塾(文久3年廃業) (大矢野上村の竹添順左衛門荀園) 生徒70名 勝麟太郎(海舟)富岡 鎮道寺に宿す この年大早魃
1857	安政	4丁巳	6	下河内村庄屋佐藤弥太左衛門・ 寺領引地に城の神様(鈴木重成)を建立 新休村庄屋福田又七朗門・本村庄屋 鶴田要之丞)
1858	安政	5戊午		郡中にコレラ病流行 劇痢病流行し死者多数 金性寺境内88ヶ所霊場
1859		6		東向寺を肥後33観音11番札所に指定
1860	萬延	元年庚申	8	桜田門外の変(井伊直弼殺害) 精鐵錢鑄造される 東向寺本堂復興 前原の山王宮に鳥居建立 天草の人口155,000人 赤崎村庄屋北野識部、長崎外人居留場2万坪埋立に成功
1861	文久	元年辛酉	1 10	本村の為兵衛外3名 隠酒造発覚し 手鎖宿預け 本村庄屋は會所預けとなる 楠浦村庄屋宗像堅固釜ノ迫堀切工事着工 長崎代官高木作右衛門(健太郎)兼任
1862	文久	2壬戌	3 4	本村に差置の流人鐵三(33)島抜け 栢ノ原地蔵堂に捨て児事件 本村に野狐使いが居て2百人餘も一時に熱病患者続出 日田郡代支配 屋代増之助兼任 文久永寶鑄造される

				値賀紋水、本戸馬場村に私塾集義館を開く
1863	文久	3 癸亥		竹添荀園、町山口村に私塾誠文堂開く 郡中より薩摩へ出稼ぎ人出発 窪田郡代支配
1864	元治	元年甲子		楠浦村庄屋宗像堅固の前潟新田釜の迫鑿河工事完成 御領村大島の小山秀の進、長崎の大浦天主堂を建立
1867	慶応	3 丁卯		15代将軍徳川慶喜が大政奉還 長崎の漢詩人谷口藍田が本戸馬場村明德寺内に文学塾開く
1868	慶応	4 戊辰	4 6 8	天草郡は富岡県となる 天草県となる 天草は長崎府に併合され、37村に統合

現 代

1868	明治 元	9		元号を明治と改める 神仏分離令出る 米1升2銭3厘
1869	明治 2			長崎県の管轄となる
1870	明治 3	9		庄屋を廃止里正を置く 佐藤弥太郎（本村 新休 下河内 本泉） 平民に氏の称を認める
1871	明治 4	4 11		廃藩置県 熊本県八代県を設置 北海道へ移民募集
1872	明治 5	2		天草は八代県に所属 里正を戸長と改称 学制頒布 天草学校が設立 太陽暦を採用 天草で郵便始まる
1873	明治 6	1		肥後国全体を白川県とし、天草は白川県に編入 天草郡役所が富岡から町山口村（本渡）へ移転 地祖改正条例公布 切支丹禁制の高札撤廃（261年間）
1875	明治 8	6		平民に苗字を義務付る 球磨郡へ移民募集 旧幕時代の雑税を廃止し車税・酒税・煙草税を定める 下河内村晋門院を校舎として下河内新休学校開設 教員萩野孫三郎 本村引地に民家を借り小山忠重を教員として本村学校を開設 上舜上人示寂（信福寺）
1876	明治 9			白川県を熊本県と改める 廃刀令布告 断髪令がでる
1877	明治10	2		西南戦争
1878	明治11	2 11		郡 区町村の編成 東向寺門前に下河内新休学校校舎新築 本村学校 福岡に新築移転
1879	明治12			各村に郵便局開局
1881	明治14			国会開設 荷車使用始まる 6台
1882	明治15	4 7		下河内市ノ瀬橋完成 下河内市ノ瀬橋未曾有の洪水で流失
1883	明治16			フェリエ神父大江天主堂設立
1884	明治17			天草全郡53町村列に編成変え
1885	明治18			フェリエ神父崎津天主堂設立 ハワイ移民始まる
1886	明治19	4		学校令発布 小学校は尋常4年（義務制）高等4年となる 下河内学校 本村学校を合併 寺領庄司原に天草郡立本村小学校校舎新築

1888	明治21		熊本鎮台を第六師団と改称する 警察署を設置
1889	明治22	4	天草全郡が一町65ヶ村になる 町村制施行 本村 新休村 下河内村の3ヶ村を合併し本村と称す
1889	明治22	11	本村小学校を本村尋常小学校と改称 荒木誠初代校長着任 卒業生4名 天真寺裏山88ヶ所
1890	明治23	10	教育に関する勅語が出された
1891	明治24		下河内 市ノ瀬の眼鏡橋開通 本村組戸長 佐藤信邦 石工 下浦村大塚光治 22.2m 幅4.5m
1892	明治25		天草に自転車出現
1894	明治27	8	日清戦争始まる
1895	明治28	11	県道（登立～富岡）起工 本渡～牛深起工改修(大正元年竣工) 暴風雨のため本村尋常小学校校舎倒壊 伽葉軒を借り授業
1896	明治29	4	中学済々躰天草分校(天草高校)開校する 第1回天草郡会開かれる
		4	本村尋常小学校新校舎落成（建坪72坪2合）
		5	香福庵(鶴) 光徳庵(平床) 晋門院(下河内)に分教場設置 3年生以上は本校 水平窯場がなまこ焼きを考案
1897	明治30		本渡外港 大門港開港
1898	明治31		本渡・牛深町制施行 人力車(43台)荷馬車(2台)客馬車(2台)走り始める たばこ専売制実施
1899	明治32		三角鉄道開通
1900	明治33		天草で汽船運行
1901	明治34		熊本郵便局で電話業務を開始
1904	明治37		日露戦争起こる 本村に伝染病蔓延 新休伝染病院において死者多数
1905	明治38		熊本～東京間に直通列車開通 本村尋常小学校に高等科(2年修業)を併置 本村尋常高等小学校と改称
1906	明治39		富岡往還（現県道本渡五和線）開通 自転車使用始まる 7台
1907	明治40		天草(本渡・宮地・牛深)に始めて電灯つく 吉井勇一行天草来島(5足の鞋)
1908	明治41		小学校義務教育6カ年に延長 高等科を廃止 本村尋常小学校と改称 青年団が結成される
1909	明治42	3	寺領の寅ノ尾堤が竣工 寺領二又の鶴田恵津次「天草人名鑑」を出版(天草最古の書籍) 熊本県立天草中学校独立 本村にネーブルを導入(野島治市氏) 伊藤博文が暗殺される
1910	明治43		日韓併合条約締結 本渡 大浦県道開通
1911	明治44		牛深に蒸汽船2隻進水する 下河内～寺領間道路完成
1912	明治45		明治天皇崩御 大正と改元
1912	大正 元	6	天草電燈会社発足

		1 1	本渡発電所開設 米 1 升 2 円 8 銭
1 9 1 3	大正 2	4 6 1 2	私立天草養正女学校開校 <b>迦葉軒の本堂庫裡を大改修</b> 亀川に天草蚕糸株式会社創業
1 9 1 4	大正 3	8 1 0	ドイツ国へ宣戦布告（第一次世界大戦）日本軍 青島占領 <b>迦葉軒に鐘つき堂建立</b> 大矢野にホルスタイン種乳牛を導入
1 9 1 5	大正 4		天草に始めて自動車が走る
1 9 1 6	大正 5		天草にコレラ発生、死亡者多数 下津深江村に水力発電所ができる <b>寺領～福岡間道路完成</b>
1 9 1 7	大正 6	5	天草郡聯合青年團設立 澱粉工場(萩原宗作)建設 富岡町に電灯が灯る
1 9 1 8	大正 7	2	<b>本村尋常小学校に農業公民学校併設</b> 第一次世界大戦終結
1 9 1 9	大正 8	5 1 2	ベルサイユ条約締結 天草製糸株式会社創業 天草酒造株式会社設立 本渡で電話交換業務開始
1 9 2 0	大正 9	2 4 1 1	天草繭市場開業 天草郡立天草実業学校開校 <b>本村尋常高等小学校となる</b> 下河内神社狛犬建立（毛利直三郎寄進） 第 1 回国勢調査、県人口 1,233,233 人 天草 175,576 人
1 9 2 1	大正 1 0	4 7 1 0	熊本県立天草高等女学校改名 肥後銀行天草支店開業 <b>本村青年団新休分団「皇太子殿下御渡欧記念樹」として松を植樹し記念碑を建立（後の一本松）</b> 和牛導入 飼育始める 本渡牛深間に定期バスを運行
1 9 2 2	大正 1 1		苓州銀行設立 天草共進会産業博覧会を開催
1 9 2 3	大正 1 2	3 7 9 1 0	熊本県立天草農業学校改名 瀬戸開閉橋開通 本渡外港 錦島港開港 関東大震災 <b>本村 堂の迫に本村尋常小学校 校舎新築着工</b> 下河内・鶴分教場廃止 <b>迦葉軒を迦葉寺へ昇格</b> 大宮地村に水力発電所建設
1 9 2 4	大正 1 3	1 8	清浦内閣誕生 熊本市電開通 県連合処女会発足 大矢崎築港完成
1 9 2 5	大正 1 4	5	普通選挙法公布 治安維持法施行
1 9 2 6	大正 1 5		天草郡役所廃止 天草支庁に改名 大正天皇崩御 昭和と改元
1 9 2 7	昭和 2		米 1 升 3 円 4 9 銭 <b>電灯がつく</b> 普通選挙による初の県会議員選挙 <b>福岡～平床間道路完成 寺領～鶴間道路完成</b> <b>本村より繭 1 万貫（37,500 kg）出荷</b>
1 9 2 8	昭和 3	3	本渡新港大矢崎港開港 ラジオ使用始まる 苓洲バス設立（本渡－富岡間 15 人乗りバス）

			富岡に九州大学付属臨海実験所開設
1929	昭和 4	4	本村郵便局開局 平床分教場廃止 上掛道橋架設 龍の橋架設 本村ワサビ組合加工販売 トマト栽培始まる
1930	昭和 5		上津浦正覚寺で切支丹墓石を発見
1931	昭和 6	9	満州事変起こる 本渡町に5間道路が開通
1932	昭和 7		稲の平地干を架干方式へ
1933	昭和 8		県令により水稻晩期栽培始まる 本渡～本村間 岩崎タクシー運行 二浦の横田良一「天草小唄」を出す
1934	昭和 9		天草大干ばつ 本渡 下田県道開通
1935	昭和10	3 3 10	天草教育会館完成 本渡上水道完成 本渡町と本戸村が合併 本村青年学校設置 本村小学校へ校旗.ピアノ寄贈(田中直一氏) 宇土洗切まで道路完成
1936	昭和11	2	2・26事件 本渡町上町に合同停留所完成 大矢野村の森慈秀が県議会に天草架橋提案
1937	昭和12	7	葉煙草耕作始まる 国防婦人会結成 廬溝橋事件 日中戦争始まる 産業組合再建
1938	昭和13		満州移民を奨励 天草に豪雪 天草人口25万人 本村に葉煙草栽培始まる29戸
1939	昭和14	4	警防団令公布 米穀配給制始まる 国民徴用令公布 価格等統制令公布 「産めよ殖やせよ」発表
1940	昭和15		日独伊三国同盟締結 南京国民政府樹立 米味噌醤油砂糖塩など切符制採用 「贅沢は敵だ」 紀元2,600年祭 十万山登山口に桜の木を記念植樹(天中生) 招魂場に桜の木を記念植樹(天農生・本渡高女)
1941	昭和16	4	太平洋戦争勃発 真珠湾空襲 国民学校令公布 満州開拓青少年義勇軍出発 本村尋常小学校を本村国民学校と改称 本村上平床に電灯つく 青年学校へ報国木炭供出を割当てられる
1942	昭和17	7 12	天草郡聯合處女會設立 九州産業交通株式会社が設立 天草支庁は天草地方事務所に改名 食料管理法公布 衣料切符制実施 金属回収令で梵鐘供出 福岡～二又間道路完成
1943	昭和18		学徒動員要項決定 女子勤労働員強化 佐伊津に天草海軍航空隊が設立 山本五十六戦死 学徒出陣
1944	昭和19		沖繩疎開児童40名本村小学校へ入籍、 食料増産のため運動場の梅檀伐採

			<p>神風特別攻撃隊編成 佐伊津海軍航空隊創設          学童疎開、竹槍訓練始まる          巡洋艦長良が牛深沖で撃沈          農会 産業組合が合併し農業会発足</p>
1945	昭和20	<p>2 本村小学校運動場北側に横穴式防空壕を構築          空襲警戒のため分散教育（栢原道場・下河内神社・新休神社          本村神社・聖福庵・平床消防クラブ・香福庵）          6 佐伊津海軍航空隊より沖縄戦へ出撃（16名戦死）          8 広島・長崎に原爆投下 ポツダム宣言受諾 終戦          9 墨塗り教科書出現          農地改革を指令          10 国民学校授業再開 平床・宇土は教育分駐教育所          東向寺に菊池農兵隊天草支部をおく          10 マッカーサー五大改革指令（男女同権 労働者団結権          学校教育民主化 専制政治廃止 経済機構民主化）          12 第一次農地改革          12 下河内に酒井医院開設</p>	
1946	昭和21	<p>1 天皇、人間宣言 全国ご巡幸始まる          1 公職追放令出る          天草人口21万7千人（内、外地引上げ1万2千人）          2 貨幣封鎖（新円切替）          4 戦後初めての総選挙          10 農地改革（11・29施行）          有機合成剤DDT・BHCを殺虫剤として使用          沖縄より本村へ疎開していた人155人が故郷へ帰還する。          松田唯雄「天草近代年譜」を刊行          11 日本国憲法（平和憲法）公布          12 大連・樺太・シベリアから引上げ船第1号舞鶴港へ入港</p>	
1947	昭和22	<p>3 教育基本法・学校教育法公布（小中学校 6・3 制発足）          国勢調査          4 地方自治法施行（初の民選知事・市町村長統一選挙）          4 本村国民学校を本村立本村小学校と改称          新制本村中学校発足（生徒数142名） 校舎を共有          5 日本国憲法施行          10 第一回県民体育祭          八久保開拓に18世帯入植          下河内に毛利医院開業          栢の原下公民館が落成</p>	
1948	昭和23	<p>教育委員会法公布 サマータイム実施 三輪車入る          4 宇土分校設置認可          本村農業会解散 本村農業組合設立          果樹試験場設置 養豚始まる</p>	
1949	昭和24	<p>4 新休三五番地（東向寺前）に本村中学校落成          校舎912㎡ 敷地4,752㎡          5 天皇陛下天草御巡行 天皇陛下 八久保へ立ち寄られる          農地改革進む 動力噴霧器入る          本渡電報電話局開局          単一為替レートドル360円設定          牛深鰯景気 魚貫炭坑事故19名死亡</p>	
1950	昭和25	<p>除草剤に24D使用始まる</p>	



		4 6 8 9	本村開拓団 天皇御立寄りの碑建立 朝鮮戦争勃発 警察予備隊令公布 公職選挙法施行 本村小学校PTA結成 初代会長鶴田作雄氏就任 本渡 本村間バス運行
1951	昭和26	3 9 10	日米安全保障条約に調印 本村農業委員会設立 太平洋戦争講和条約調印 本村鶴の山林(5町6反5畝7歩)を学校林とし本村小中学校 PTAが共有する ルース台風 パチンコブーム 警察予備隊設置 志岐に久恒炭坑を開坑
1952	昭和27	4	平床分校設置認可 児童数23名 教師1名 天草農業試験場開設
1953	昭和28	2 8	NHKテレビ本放送開始 迦葉寺の本堂庫裡を改修 富岡で鱧狩り20頭
1954	昭和29	2 3 4 4 7 8 12 12	志岐炭鉱出水事故36名死亡 本村中学校特別教室(3室256㎡)新築 市制施行により本町小学校 本町中学校と改称 本町学校林を本渡市へ委譲 本渡市学校林設置条例施行 市制施行(本渡 佐伊津 本 亀場 栢宇土 楠浦 志柿 下浦) 総面積122,56平方キロ 人口約4万7百人 初代市長に金子亮夫氏就任 自衛隊発足 県警察本部発足 消防署開庁 本渡市漁業協同組合発足 吉田内閣総辞職 電話架設
1955	昭和30	3 8 9	本渡市森林組合結成 本渡港完成 天草産業観光大博覧会本渡港埋立地(11月11日まで) 第8回国勢調査人口8,927万人 天草架橋期成会発足 水稻耕作に耕耘機使用始まる 水稻早期栽培始まる 政府買入米の予約売渡制度始まる 客馬車なくなる
1956	昭和31	4 6 7 6 10	第2代本渡市長に値賀正次郎氏就任 日ソ国交回復 国際連合に加盟 千人塚落成 殉教慰霊祭開催 天草雲仙国立公園発足 本渡市本町支所廃止 岡部禅龍氏が教育委員就任 売春禁止法成立 占領軍総引揚げ
1957	昭和32	4 6	宮地岳村本渡市へ編入 ミルク給食開始 本渡市にテレビが入る 新農山漁村建設対策事業実施さる 耕運機入る 本町雪州林道が完成
1958	昭和33	5	NHK熊本テレビ局開局 瀬戸橋はね上げ式に改修 1万円札発行

1959	昭和34	2 3 4 9 9	本渡町土手区大火 <b>本村に有線放送電話業務開始</b> （47年4月廃止） 皇太子御成婚 公社電話自動化 農畜産物輸入自由化 <b>酒井医院改め酒井病院開設</b> 二江沖の原古墳発掘始まる7千年前の人骨出土
1960	昭和35	1 4 9 10	日米安全保障条約調印 第3代本渡市長に横山寛人氏就任 熊本空港オープン 富岡で鱧狩り101頭 市営グラウンド完成 第15回国体(高校軟式野球)開催 蜜柑園造成始まる 郡内で町制施行進む（大矢野・河浦・五和・苓北・天草・松島・有明・竜ヶ岳・倉岳）
1961	昭和36	3 4 5	国民年金法施行 農業基本法施行 第一次瀬戸開削工事竣工 新和町発足 <b>本町寺領農道が竣工</b>
1962	昭和37	3 4 5 5 6 7 8 9 9 10	<b>本町小学校</b> (本渡市最初の鉄筋校舎) <b>落成</b> 完全給食開始 姫戸町発足 <b>平床公民館</b> (分校兼用) <b>落成</b> 栃光大関になる 太田町 南新町埋立完成 天草架橋着工 <b>本村にプロパンガス普及する</b> 天草西海岸道路（大江ー崎津）開通 水中翼船就航(本渡三角 本渡島原) <b>本町中学校に校歌を制定</b> 栖本町発足 <b>本町保育園開園</b> 60名 理事長松下義雄 園長鶴田義正
1963	昭和38	2 4 11	本渡～熊本間の電話ダイヤル即時化 県立天草工業高校開校 深海村出身力士の栃光が大関昇進 御所浦町発足
1964	昭和39	6 6 6 10 10 10 10 10 12	本町支館から本町公民館へ移行 本渡市農業協同組合誕生 <b>本渡市農協下河内出張所開設</b> ヘリコプターによる農薬散布実施 農業構造改善事業実施 <b>平床に果樹園</b> (14.39ha) <b>造成</b> 本渡町中央商店街大火(損害約10億円) 舟浜地区埋立完成 オリンピック東京大会開催 <b>岡部禪龍氏教育委員長に就任</b> <b>本町中学校技術実習室</b> (116㎡) <b>竣工</b> <b>本町～坂瀬川線竣工</b> 天草四郎陣中旗が国重要文化財に指定 東海道新幹線開通

1965	昭和40	2	米、北ベトナム爆撃開始 <b>本町で水稲一斉航空防除</b>
		11	公社電話全国即時通話網に編入 天草みかん第一選果場落成 米づくり運動実施 吉展ちゃん事件
1966	昭和41	2	<b>本町中学校第二運動場(813㎡)新設</b> 本渡中学校落成 天草職業訓練所落成
		8	<b>本町掛道に精薄児施設天草学園開設</b>
		8	天草切支丹館落成
		9	天草五橋開通 本渡市農協ミカン低温貯蔵庫落成
		11	市庁舎落成 消防庁舎落成 大旱魃
		11	<b>新休の門前橋が竣工</b> カラーテレビ入る
1967	昭和42	3	新県庁舎落成
		4	県営楠浦ダム完成(106万ト.工費5億4千万円)
		4	<b>本町小学校特殊学級二学級設置</b>
		4	<b>本町中学校特別学級設置</b>
		6	アラブ諸国とイスラエルの中東戦争開始
		7	港大橋竣工
		8	<b>本町中調理室(67㎡)竣工</b>
		9	ホーバークラフト就航 本渡～熊本要江港
		11	<b>本町掛道に精薄者施設芥山寮開設</b> 県下全域大干ばつ
1968	昭和43	4	皇太子.美智子妃殿下御行啓
		5	天草農業経済圏共販センター落成
		6	<b>本渡市農協長に松下義男氏就任</b> <b>本町福岡に温水循環育苗ハウス設置(葉煙草)</b>
		9	水俣病を公害認定
		10	第23回県民体育大会開催 本渡～大矢野間完全舗装
		11	市民センター開館
		11	本渡郵便局舎落成 郵便番号制発足
1969	昭和44	1	東大紛争学生 374人逮捕 熊大紛争 本渡交通センター落成 蜜柑選果場落成
		3	<b>栢原パイロット事業完成</b>
		7	アポロ11号月面着陸
		8	<b>医療法人啓正会酒井病院と改称</b>
		10	県天草総合庁舎落成 誘致企業(渋谷電器) 羊角湾干拓工事起工 都呂々竹の迫炭坑閉山 本渡-富岡間が国道324号線となる
1970	昭和45		羊角湾地域総合開発事業始まる
		5	米軍 北ベトナムを猛爆撃
		5	<b>本町中学校体育館(510㎡)竣工</b>
		6	本渡市議員定数26名に
		8	天草総合庁舎落成
		8	<b>本町掛道に火葬場完成(総工費1,415,000円)</b> カラーテレビ普及 米の生産調整始まる 日本万国博開幕
		10	<b>本町公民館移転改築落成 199㎡ 289万円</b>

		1 0	本町青年団虫追い太鼓復活
		1 1	宇土分校改築落成
1 9 7 1	昭和 4 6	3	農免道路本渡～五和間完工 本渡地区消防組合発足
		4	新熊本空港開港
		6	沖縄返還協定調印式
		7	市営グラウンドナイター施設完成
		7	本町小学校プール完成 下河内簡易水道完成
		1 2	円切上げ (1ドル308円)
1 9 7 2	昭和 4 7	4	地域集団電話開通 有線電話廃止 横浜でカラオケ始まる
		5	沖縄返還、県民95万の沖縄県発足 日中国交回復 (田中角栄)
		7	天草上島に集中豪雨 山津波発生 死者不明123名 家屋全半壊8百戸 二又橋架設 田代橋架設
1 9 7 3	昭和 4 8	2	林業構造改善事業林道 広野線開通
		3	本町中家庭科室音楽室(169㎡)竣工
		4	天草広域消防組合開所
		5	中央公民館・勤労青少年ホーム完成 県立天草青年の家開設
		1 1	熊本大洋デパート大火災 石油ショックにより温州ミカン価格大暴落
1 9 7 4	昭和 4 9		県立天草東高校・天草西高校発足 本町新休に県立天草養護学校開校 小中学校の特殊学級廃止 普門院・光徳庵・香福庵 廃庵
		5	天草瀬戸大橋開通
		1 1	市の木「檜」を選定 福岡樋の口橋架設
		1 2	市役所行政機構改革 部長制採用
1 9 7 5	昭和 5 0	4	とおしもん復活
		5	栢原に知的障害者更正施設「南海寮」認可
		6	志岐炭鉱閉山
		6	本渡市文化財に東向寺歴代住職の墓を指定 本渡市農協本町支所落成
		7	学校給食センター施設完成 中学校も学校給食始まる
		8	五橋通行料無料化 農地転用 転作(小麦・大豆)奨励 農機具センター落成
		1 0	本町小学校創立百周年記念式典挙行 人口 2646人 世帯 576戸
1 9 7 6	昭和 5 1	2	ロッキード事件発覚
		3	十万山展望台完成
		4	行政自治会長制度発足
		4	本渡市青少年センター発足 本町寺領青壮年会設立 初代会長に鶴田経久氏
		1 0	日中海底ケーブル開通
		1 1	広域農道トンネル開通
1 9 7 7	昭和 5 2	3	本渡市立図書館・南公民館落成
		4	本町東向寺保育園開園 36名 園長岡部禪龍氏
		5	本渡地区清掃センター操業開始 地域農政特別対策事業始

			教良木ダム完成 本町福岡青壮年会設立 初代会長に松下行男氏
1978	昭和53	3 3 4 10	本渡バスセンター落成 下島横断有料道路完成 本町栢原青壮年会設立 初代会長に鶴田功氏 浄水センター処理開始 瀬戸歩道橋完成 高速船就航 本渡～島原
1979	昭和54	3 9 9	天草下島北部地区広域農道完成 道目木トンネル完成 下河内にテレビ中継局開局 NHK RKK TKU 電話ダイヤル化 平床公民館改修 掛道橋架設 第34回県体天草大会 温州ミカン園転換促進事業実施 錦島 野菜一次加工施設落成
1980	昭和55	2 9 10 10 11	本町小学校体育館落成工費5,048万 歴史民俗資料館完成 運動場完成11,765㎡ 工費7,299万 本町新休寺領地区圃場整備完成 30ヘクタール 工費2億4,498万6千円 掛道自治公民館改修 農用地高度利用促進事業始まる 本町下河内青壮年会設立 初代会長に森寅信氏 国勢調査(1億1,705万7485人) 米飯給食週2回実施 第1回市民大運動会開く
1981	昭和56	2 4 5	早期米コシヒカリ導入 栽培講習会 市立民族資料館開館 亀川ダム貯水始まる 栢の原公民館改修 本町横久保青壮年会設立 初代会長に松村真澄氏 福岡地区圃場整備完成
1982	昭和57	3 4 9	福祉センター・保健センター完成 県営亀川ダム完成 総合武道館完成 学校規模適性化審議会発足 本渡中央銀店街アーケード増築 本町新休青壮年会設立 初代会長に岡部有恒氏 本町小学校ナイター施設完成 758万円 鶴地区圃場整備完成 新休公民館改修 横久保公民館改修 水平～下河内間二車線化 一の瀬橋架設 毛利内科新築移転
1983	昭和58	3 3 3 3	学校規模適正化審議会の答申でる 市庁舎増築工事完成 政府臨時行革推進議会意見書提出 本町小学校宇土分校閉校(昭和23年開校) 本町平床青壮年会設立 初代会長に松下義重氏 鈴木神社330周年大祭 拝殿新築落成
1984	昭和59	1 9 11	市の瀬眼鏡橋と石碑を本渡市文化財に指定 第9代本渡市長に久々山義人氏就任 本渡の歌「本渡わが街」決る 本町鶴青壮年会設立 初代会長に若林一也氏 市制施行30周年記念式典 市の鳥「カワセミ」を選定
1985	昭和60	10 11	第1回トリアスロン天草大会開催 本渡市行財政改革推進協議会発足

		1 2	港新橋開通
1 9 8 6	昭和 6 1	2 3 3	本渡市行財政改革大綱を発表 本渡警察署東浜派出所完成 <b>本町小学校平床分校廃校</b> （昭和 2 7 年開校） 本渡市 P T A 会長・学校給食会長・天草 P T A 会長に鶴田功氏就任
1 9 8 7	昭和 6 2	4	消防防災無線開局 天草島原の乱 3 5 0 年祭開かる <b>町内で施設園芸(ハウス)農業始まる</b>
1 9 8 8	昭和 6 3	3 9	<b>新休 運動広場完成</b> <b>県道 下河内～新休間二車線化</b> 広瀬公園野球場完成 本渡運動公園改修工事完成 米国カリフォルニア州エンシニタス市と姉妹都市締結
1 9 8 9	昭和 6 4	1	昭和天皇崩御 魚貫崎漁港に難民船（1 6 7 人）が漂着
1 9 8 9	平成 元	2 1 1 1 1 1 1	昭和天皇大喪の礼 広瀬公園野球場（長島茂雄球場）完成 消費税スタート 本渡五和農業協同組合発足 ベルリンの壁崩壊 大矢遺蹟から九州最古の土偶出土 本渡勤労者福祉センター開館
1 9 9 0	平成 2	3 6 1 0 1 0 1 1 1 1 1 2	東西ドイツ統一 <b>本町公民館落成 第 1 回ふるさと祭り実施</b> <b>広瀬砂防ダム完成(宇土)</b> <b>栢原運動広場完成 寺領自治公民館落成</b> ペルー大統領に日系 2 世フジモリ氏（川内町）当選 東西ドイツ 4 5 年ぶりに統合 ベルリンの壁崩壊 県民文化祭(本渡市 牛深市) 雲仙普賢岳噴火 天草森林組合発足 <b>本町 町づくり推進委員会発足</b>
1 9 9 1	平成 3	1 4 4 6 9 1 1 1 1 1 2	中東湾岸戦争勃発 県知事に福島譲二氏が初当選 市立看護専門学校開校 ソ連邦ゴルバチョフ大統領初来日 市立看護専門学校開校 誘致企業 西九州部品営業開始 雲仙普賢岳大火砕流発生 台風 1 7 号・1 9 号県下災害甚大 第一回市民文化祭開催 <b>鈴木神社顕彰祭を 1 1 月 2 3 日（勤労感謝の日）開催</b> ソビエト社会主義共和国連邦解体
1 9 9 2	平成 4	1 3 6 1 0	商工会館完成 <b>本町 町誌編纂委員会発足</b> シルバー人材センター設立 <b>東向寺庫裡屋根工事</b> あまくさ農業協同組合発足 都呂々漁港に中国密航者（6 1 人）上陸
1 9 9 3	平成 5		天草学林開設 4 0 0 年祭開催 日本ポルトガル友好 5 0 年祭開催

		7 9 1 2	連合政権樹立 細川総理誕生（日本新党） 政府、米市場部分開放を決定 台風13号九州被害甚大 冷夏で米不作 山口～道面間二車線化 掛道橋架設 下河内自治公民館新築再建
1994	平成 6	2 4 7 1 1	HⅡ型国産ロケット打上げ成功 米穀緊急輸入 ウルグアイラウンド最終合意 1ドル100円を突破 向井千秋 日本人女性初の宇宙飛行士に 政治改革法成立
1995	平成 7	1 3 4 1 2	阪神淡路大震災（M7・2、死者5千余名） オウム真理教事件 円が戦後最高値を記録 東京外国為替市場で1ドル79円75銭） 熊本市が中核指定都市 苓北火電本格稼働
1996	平成 8	6	東向寺開創350年法要 〔天草方言集〕ホームページ創設（天草知ろうネット）
1997	平成 9	2 4	栢原下自治公民館新築再建 東向寺31世入山式 迦葉寺法堂、庫裡を新築再建 本渡～熊本新港間に高速艇マリンビュー就航 御所浦町で肉食恐竜の歯を発見 本渡祇園橋国重要文化財に指定 〔天草方言集〕鶴田功著初版発刊
1998	平成10	1 3	天草エアライン株式会社設立 本渡馬場～法泉寺間バイパス開通 鈴木正三シンポジウムが開催される
1999	平成11		三県架橋シンポジウムが開催される 熊本未来国体開催 携帯電話が一般に普及する 天草広域連合設置
2000	平成12	3 3 4 5 1 2	福島県知事死去 新本渡清掃センター落成 天草空港開港、ダッシュエイト就航 ホームページ〔天草本邑のあゆみ〕開設 潮谷義子知事誕生 第13代本渡市長に安田公寛氏就任 東向寺31世岡部守信和尚晋山式 天草中央漁業協同組合発足 〔天草方言集〕ホームページ更新
2001	平成13	1 1 1 2	J A本渡五和本町支所新築移転 天草消防組合・衛生施設・斎場管理組合が広域連合に統合 学校給食に強化磁気食器導入 普門院境内の子安弘法大師堂新築再建
2002	平成14	3 4 5 6 8	ニューヨーク市同時多発テロ 東向寺で天草土人形展が開かれる 天草アーカイブス（文書館）開館 ワールドカップサッカー大会が開かれる 天草地域森林組合発足 本町「まちづくり実行委員会」発足 ホームページ「本町のホームページ」開設

		9	県道寺領平～引地線開通 天草2市8町で「天草合併協議会」設置 寺領迦葉寺に葛西啓二和尚が入山
2003	平成15	3 3 4 10 10	イラク戦争勃発 JA本渡五和が機構再編、北支所本町支店となる あまくさ漁業協同組合発足 掛道に天草本渡斎場落成 本町公民館 全国優良公民館表彰受賞 鈴木重成公没後350年式典
2004	平成16	4 7 10	第14代本渡市長に安田公寛氏就任 天草2市8町で 天草合併協議会 再設置 本町小学校PTAが日本PTA連合会表彰・文部大臣表彰受賞
2005	平成17	1	県知事に「廃置分合申請書」提出 天草漁業協同組合発足
2006	平成18	3	〔本町の歴史〕発刊 天草市発足
2007	平成19	6 10	栢原に老人福祉施設 葉山苑開設 年金記録未統合判明 郵政民営化スタート
2008	平成20	4 10 11	下河内に老人福祉施設 天領の杜開設 日本人4人がノーベル賞 アメリカで史上初の黒人系のオバマ大統領が誕生
2009	平成21	5 8	迦葉寺11世晋山式（葛西啓二和尚） 衆院で民主党圧勝 政権交代成る 鳩山由起夫総理誕生
2010	平成22	2 3 4 6 9	郷土の本・著者の集い（熊本県文化教会） 本町中学校閉校 本渡中・本町中・佐伊津中が統合して本渡中学校に校名変更 菅直人総理 尖閣諸島で中国漁船が巡視船に衝突
2011	平成23	3 3 7 9	東日本大震災・福島原発事故 九州新幹線全線開通 東向寺鐘楼堂再建 第95代野田佳彦総理大臣
2012	平成24	1 1	領有権問題（尖閣・竹島）悪化 東向寺保育園新築移転 阿蘇集中豪雨で被害甚大 山中伸弥教授ノーベル賞授賞 衆議院自民党圧勝 安倍晋三総理
2013	平成25	5	天草方言集第七版発刊（熊日・西日本新聞掲載）
2014	26	2 2	郷土の本・著者の集い（熊本県文化協会 日航ホテル熊本） 天草方言集第八版発刊